

ほたるっ子



磐梯第一小学校
学校だより

NO. 28

R4. 8.29

(文責: 校長 菅家 篤)

ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

「家読(うちどく)ウィーク」が始まります!

～読書で深める家族のふれあい～

磐梯一小では、9月3日から11日までを「家読ウィーク」として、家庭での読書を推進します。「家読」(うちどく)とは、家族で本を読んで語り合おう、という家庭での読書のすすめです。いま共働きのご家庭が多く、また、子どもたちもスポ少や習い事などに熱心に取り組んでおり、家庭内でのふれあいの時間が思うようにとれないご家庭もあるのではないかと思います。そこで、「家読ウィーク」をひとつのきっかけにして、家族とのふれあいを深めていただければ幸いです。



「家読」は実際、どんなふうにすすめていけばよいのでしょうか。「家読」にルールはありません。それぞれが読んだ本をすすめ合ったり、家族が集うリビングのテーブルに本を置いておき、話題にしたりする。それだけでも「家読」です。例えば、いま話題の「〇〇」について学んでみよう、親子で一緒に書店に行って、どんな本を読もうかと相談し合うのもよいでしょう。

「家読」は、家族の中でやり方を編み出せばよいのです。ひとつ、興味深い方法を紹介します。家族で『思い出ブック』をつくるという提案です。1冊の本を家族で回し読みして、それぞれが感動した箇所に印をつけるという方法です。お父さんは二重線、お母さんは波線、息子はマーカーなど、印を決めて記入します。家族全員が読んだ後、本を開けば、「えーっ、お父さんはこの文章に感動したんだ!」「息子はここがいいと感じたのか…。」と、それぞれの感じ方を知ったり、共感したりすることができます。

「家読」で家族と過ごす豊かな時間や家族のコミュニケーションを増やしてみませんか。

こんな読み方もあります

～家読(うちどく)のしかた～

- ★ 読み聞かせ : おうちの人を読んだり、子どもが読むのを聞いたりする。
- ★ 交代読み : 1ページずつ交代で声に出して読む。
- ★ 役割読み : 「 」(会話文)を読む人、それ以外の文を読む人など役割を決めて読む。
- ★ 家族読み : 家族みんなが自分の好きな本をそれぞれ持ってきて読む。
- ★ 読後クイズ : 読み終わった後で、「誰が出てきた?」「〇〇が持っていた物は?」などのクイズを出して楽しむ。
- ★ 読后感想 : 本を読んだ感想を家族で交流する。